



校長室だより

2026年2月24日
丹波市立進修小学校
校長 松田 亜矢

「子どもたちが安心して学び、成長できる学校」をめざして

～今年度の学校評価アンケートの結果より～

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
今年度実施しました学校評価アンケートの結果を受け、学校として把握した「成果」と「課題」、そして「今後の具体策」を以下のようにまとめました。今後の学校運営の改善に活かしてまいります。
20日(金)に配布した「令和7年度学校教育アンケートの結果について」は、この中からの一部の結果を考察したものです。より詳しいものをお知らせします。

1. アンケートから見えた成果

① 学校生活への満足度が向上(児童)

児童の「学校に行くのが楽しい」と感じる割合が昨年度より2.6%増加し、85.4%となりました。学習面・生活面での個別支援を教職員間で共有しながら継続して行ってきたことで特に個に応じた指導や支援を継続した効果であり、安心して過ごせる環境づくりにつながっています。ただ、楽しくないと言った児童の思いも受け止め、一人一人の居場所づくりに努めたいと思います。

② 友だちと学ぶ楽しさの広がり

「友だちと学ぶことが楽しい」と答えた児童が90.4%で昨年度より1.9%増加しました。対話を取り入れた授業づくりや自由進度学習など、新しい学び方が協働的な学びの充実につながっています。

③ 地域とともに学ぶ活動の充実

地域資源を活用したふるさと学習が広がり、児童の満足度は高い水準を維持しています。ゲストティーチャーの増加や地域の方との活動が活発になりました。特に保護者の意識が昨年度から25.7%激増し、70.5%となり大きく向上しました。ありがとうございます。

④ ICT活用への期待と意欲

児童・保護者ともに、ICT機器の活用が学習意欲の向上につながっていると感じています。特に、保護者は96.2%と昨年度より1.9%増加しました。教師側の自己評価は100%であり、今後も学校としても効果的な活用方法を検討しながら授業改善を進めています。

⑤ 子どもの良さを認める取り組みの継続

「自分にはよいところがある」と感じる児童は一定の割合を維持しています。ほめ言葉の質の向上や、互いの良さを伝え合う活動を継続して行っています。

2. アンケートから見えてきた課題

① 保護者の「学校が楽しい」という実感の低下

児童の満足度は上がった一方で、保護者の評価は89.7%で4.6%減少しました。学校の体制変更などにより不安を感じる方もおられると考えられます。今後も引き続き、保護者の皆様との連携を密にしていきたいと思えます。

② あいさつの実践が低下

児童・保護者ともに「あいさつができています」と感じる割合が大きく減少しました。児童は69%で6.3%の減少、保護者は65.4%で3.4%の減少です。小さな声で返せない、返事ができないなどの課題が見られます。自分からあいさつする、あるいは返事をするという基本的な習慣の再徹底が必要だと感じます。

③ 家庭でのメディアコントロールの難しさ

児童の意識は、75%と昨年度より2.4%高まっているものの、実践が追いついていない状況があります。保護者の実感は56.4%であり、ゲーム・スマホの使用時間やルールの認識に、親子で差があることも見られます。

④ 家庭学習の習慣化

宿題は提出できていても、「自分から取り組む」姿勢が十分でないという声がありました。保護者の方は、家庭学習の習慣化に肯定的評価は62.8%でした。

⑤ 自己肯定感のさらなる向上

肯定的な回答は多いものの、約2割の児童が「自信が持てない」と感じています。行事や係活動など児童に役割を持たせ、小さな達成感を味わわせて自己有用感を高めたい取り組みを続けていきます。

3. 今後の具体策

① 学校生活の見える化と保護者との連携強化

- ・学校・学年だよりの充実
- ・ホームページやアプリでの情報発信の強化
- ・個別懇談での丁寧な情報共有
- ・子どもが主体的に活躍できる行事の工夫

② あいさつの定着に向けた取り組み

- ・児童会による朝のあいさつ運動の強化
- ・朝の会・終わりの会でのあいさつ指導
- ・家庭でのあいさつ習慣づくりのお願い

③ メディアコントロールの支援

- ・タブレット使用ルールの再確認と掲示
- ・家庭でのルール作りを支援する資料の配布
- ・SNS・ゲーム内での言葉遣いの指導

④ 家庭学習の習慣化を支える取り組み

- ・「家庭学習のてびき」の活用強化
- ・宿題の方法や内容の見直し
- ・家庭での声かけの工夫を紹介

⑤ 自己肯定感を育てる取り組み

- ・教職員の「ほめ言葉の質」を高める研修
- ・終わりの会で友だちの良さを伝え合う活動
- ・委員会・行事での役割を与え、成功体験を積む機会を拡大

⑥ 地域とともにある学校づくりの推進

- ・ゲストティーチャーの継続的な招聘
- ・地域資源を活かした体験活動の拡大
- ・保護者が参加しやすい仕組みづくり
- ・図書館事業によるふれあいの場所の開放

4. おわりに

「子どもたちが安心して学び、成長できる学校」をめざし、今後も教育活動の充実に努めていきます。保護者の皆様には、今後ともご協力ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。